

料金後納
郵便

ゆうメール

やまもり通信

NO. 257 2025. 9

NPO法人恵那山みどりの会



昭和 18 年頃「伐木の受け口掘り」 (現在の南信森林管理署管内)

中部森林管理局ホームページより

残暑お見舞い申し上げます。

今年は異常な暑さで、残暑のレベルではありませんね。

「猛暑日に生きているかと便り来る」 沢田博昭

リニューアルホームページ

恵那山みどりの会

検索



<https://takaminecloud.mizunoinfo.com/4DCGI/MID2/>

8月は広島、長崎の原爆投下や終戦記念日などであらためて、戦争のない世界、平和な世界を考える時期です。

先の大戦では日本も310万人を超える人が亡くなりました。戦後80年が経ち、世界はまたまた同じ過ちを繰り返す危険をはらんできていると思えてなりません。

戦争の反省を踏まえ、平和への枠組みをいろんな分野で英知を重ね構築してきたはずですが、法に基づく国際秩序はたった20数年で世界は逆戻りしてきています。民族紛争、覇権主義・自国主義の台頭で多国間協調主義や自由・民主主義が崩壊の危機にあります。

我々の活動に関係する環境問題も思想的基盤が揺らいでいる今日、

後退の危機に瀕しています。地球は決して我々を許してくれないでしょう。世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して1.5℃以下に抑えないと、もはやどんな科学技術を使っても元に戻らないといわれています。四季は二季になり、今年の残暑は十月下旬まで続く予想もあります。

環境を考えると、今こそ木材の有効活用と先進技術が地球の温暖化を抑制する手段ではないでしょうか。国内に蓄積されている大量の木材資源はまだ活用されていないものが大半です。森林整備がされず、そのままでは建材として使えない木も今の技術を生かせば、立派な建材として生かすことができます。問題は日本の山林での伐採建築も可能です。

木の利点はCO₂を吸収し、建材として利用すれば固定化でき、断熱効果も期待できます。可燃性という難点も今の技術で克服できます。問題は日本の山林での伐採

コストと作業員の確保です。コストは今の林業、製材、物流、販売といった分業では採算は取れないのでそれらを統合した企業体もしくは共同組合を作り、そこに地方の土木企業も参画し、重機や作業要員を確保する。大量に生産する木材、加工品を世界に日本ブランドとして拡販し、コスト吸収する。また技術移転をして世界の復興に寄与していくことができれば林業の復活ができるのではないのでしょうか。

夢物語かもしれませんが、国が本気になれば可能ではないでしょうか。

日本林業は林業界だけでは産業として成り立たない実情があります。資源の少ない日本にとって、木材は重要な資源です。

日本の木材と活用技術が今紛争で住宅に困っている国々に、清潔で頑丈な家を提供できるとすれば国際紛争戦後復興という国際協力にもなると確信します。

森へようこそ

早川宏之

安全に伐採するための研修会

六月二十九日(日)に伐採研修会を実施しました。

梅雨明けを思わせる夏日ではありませんでしたが、四名の参加を得て予定通り実施できました。

「なすの森」の湿地付近の雑木林で研修会の概要説明、説明内容に基づき枯松で伐倒作業を体験しました。

まず、安全に伐採するための基本である受け口を確実に入れることを徹底しました。受口の基本である水平切りと斜め切りの切り終わりを確実に一致させること、次に伐倒方向に対して直角であることを徹底しました。

その後、「ガターカット」という伐倒方法を、各自枯松の伐倒により体験しました。

直径三〇cm未満の伐倒には「ガターカット」が、伐倒木に多少傾斜があっても傾斜方向とは違う伐倒方向へ確実に

に伐倒できることをそれぞれ実感しました。有意義な研修会になったと思います(YouTubeの「岩手の林業普及班チャンネル」を参照しました)。

午前中に湿地付近の四本の枯松を伐倒し、お昼前には「熱中症指数計」も「警戒」を示しており今回の伐採研修会を終了しました。

お知らせ

当会では、炭焼き、薪づくり、ホダギづくりに伴う伐倒作業、依頼を受託しての草刈り、庭木剪定あるいは竹林整備作業等の事業を行っています。

幸いにして大きな災害を起こすことなく無事に推移しております。

これから「安全第一」で作業を行ってまいります。

主として、平日で随時であります。作業に参加してみようと思われる方は左記まで連絡いただけるとありがたいと思います。

TEL 090-3555-1752

E-mail: hkmaya@k5.dion.ne.jp
担当: 早川宏之

【もりづくり・間伐体験会】を計画しております。

木を伐ること(間伐)は森を健全に育てることに繋がります。

風を入れ、光を入れ、光合成を促し丈夫な森を作ります。

森を作り、森を育て、森を守る方法を体験しましょう。

十月にチラシを回覧予定です。



日時: 令和七年十月一九日(日)

場所: 福岡 桧植林地

六月二十四日（火）曇り 七人
炭出し
七月八日（火）晴れ 五人
雑木林窯でのチップ処理
七月二十二日（火）晴れ 五人
薪置き場での草刈り

約百二十五Kの炭が出来た。

五月六・九日に掛けて炭焼きをし、六月二十四日に炭出しをした。今回は、炭焼きを何時もより一日短い四日で終了したので、黒光りする金属質の堅い良質の炭は出来たか、収量は、と気になった。収量は五K詰め段ボール箱に二五箱（最近は二十箱前後）とまずまずの成績で質はそこそこの出来であった。只一部に十分炭化しきれなかった茶褐色の部分を残す炭、俗に言う「おじ」が出来た。「おじ」は、窯内の温度と燃焼時間によって窯の底に出来やすくなる。今回の反省点は、精錬開始が、二百



雑木林窯で一番乾燥している部屋に納められた 5k 入り段ボール箱の炭。

七十度、精錬を止め窯の封鎖温度は、三百度であった。封鎖温度を四百度まで上げるべきだった。明るいうちに終わりたく早く窯止めしてしまっただ。「炭焼きはすべてゆっくりやる、このゆっくりが良い炭を焼く絶対条件」と本に記載されていた。

スイカ作りに挑戦！

夏は、冷たいジュシーな甘いスイカが食べたくなる。そこでスイカを栽培することにした。蔓を地面に



空中に浮かぶスイカ。甘くておいしかった。近所にも配り好評でした。

《リレー投稿》

リニア岐阜県建設関連工事

真最中の坂本地区に暮らして

小林あき代

岐阜県による坂本地区住民への濃飛横断自動車道計画が最初に開かれたのは、今から十一年前の2014年三月でした。

説明会当日、会場の壁面に示された路線計画図の真下に我が家があると知った時は驚愕の一語でした。夫婦揃って七十才の高齢家族の自分達が五十年近く住み慣れた家を転居する事になるとは。

その後関連する住民説明会に参加し、その都度この道路計画の目的を問ひ質すと共に、四囲を山に囲われた最高の環境に住み続け、近隣の人々と培って来た人間関係を断ち切ったの移転はとも承諾出来ぬと意思表示し続けました。

とは言え暗澹たる気持ちのまま、家中の不要食器・書籍・寝具や押し入れの片付け等細々として行ってきました。2018年に岐阜県より最終路線図が提示され、当初計画より道幅が減少した事と道路が

東寄りになった事で、我が家の移転が必要となり一安心しました。この道路工事は現在二十ヶ所近い橋脚が建てられ、一部区間を除き工事進行中です。

リニア岐阜駅が現在のJR美乃坂本駅北側に建設される事に伴い駅周辺の様変わりには激しく、駅裏の殆どの民家が撤去されました。

関連するリニア駅前開発事業・本線トンネル工事・リニア車両基地・ガイドウェイ製造工事・恵那中津川都市間連絡道の建設等々、坂本地区全域に亘って相次ぐ工事が進行中です。工事用大型車両がひっきりなしに土砂運搬しています。

緑なす周辺の森林が大規模に伐倒され、いずこも赤茶けた山肌がむき出しになってしまいました。数年前までは考えられなかった線状降水帯やゲリラ豪雨により各地で莫大な被害が出ています。保水力が低下した坂本の造成地でこうした雨が降り続いたら……とても不安で心配です。大雨の後には私は造成地に出掛け崩壊等を見に行っています。

這わすと栽培面積を広く取られるので、面積の少なくなるネット栽培にした。

二株四月中旬に植え付けをした。品種は、小玉のピノ・ガール。子づる孫づるを伸ばすための摘心操作以外は何もせず放任栽培。伸びたツルはネットに這わせ実がなるのを待った。受粉から35〜40日たったら収穫とあるが、判らないので実の付いた茎のヒゲ根が枯れたら収穫した。十五個収穫できた。

リニア岐阜駅の完成予定は先延ばしされ、各地での工事トラブルもあって完成見通しも立てられないと思われる。

広大なリニア車両基地へ各工事が出た残土が搬入され、この中にはセシウム等の自然由来の重金属が含まれています。地中深くあった重金属が掘り出されることでの環境への影響が心配です。この残土は三十mの高さにまで積み上げられ、その上に車両基地が建設されます。

濃飛横断自動車道を含む現在行われている関連工事で、坂本地区の〇〇世帯もの多くの住民が意に反して転居されました。

高齢で核家族の人々の移転を考える時、移転後の暮らしが落ち着いて安心しておられる事を願うばかりです。

完成見通しの立たないリニア工事、人口減少や環境問題、リニア中心の財政計画、市民生活の圧迫等、私にはリニアの必要性が益々疑問に思えて仕方がありません。

2025年 9 月・活動/打合せ予定						
日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
7 日	日	13 : 30	役員会	事務所	担当・役員	
9 日	火	9 : 00	定例作業日	雑木林	会員・一般	
14 日	日	9 : 00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
22 日	月	9 : 00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
23 日	火	9 : 00	定例作業日	雑木林	会員・一般	
24 日	水	13 : 30	企画会議	事務所	担当・役員	
28 日	月	9 : 00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
10 月 イ ベ ン ト と 森 の 学 校 の 予 告						
		行事内容		会場	備考	
19 日	日	もりづくり・間伐体験会		福岡 桧植林地		
編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連あるご意見などをお寄せください。 関係の深い記事など通信に記載します。 イラストなどもお寄せください。				発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会 理事長 河内 龍二 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13 (TEL・FAX 0573-65-1366) 13:00~16:00(月・土・日・祭日休み) メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp		

～^{ねが}希望をともに～

恵那山みどりの会は
緑豊かな里山づくりをめざし
木の間伐をする、その利便として
炭焼や、しいたけの原木をつくり出す
種拾いや、植樹をします

未来を担う子どもたちのために
森の学校「はっばーほ」を開きます
自然をとりもどしたいという人々の願いは
強まっています

経済優先の社会と別れ
自然とともに生きる 豊かな社会
をめざしているのです

恵那山みどりの会は
そういう人と共に
生きていこうと考えています

文・書 太田光昭

2025年 10 月・活動/打合せ予定

日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
5 日	日	13 : 30	役員会	事務所	担当・役員	
12 日	日	9 : 00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
14 日	火	9 : 00	定例作業日	雑木林	会員・一般	
19 日	日	9 : 00 15 : 00	もりづくり ・間伐体験会	福岡 桧植林地	会員・一般	
20 日	月	9 : 00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
22 日	水	13 : 30	編集会議	事務所	担当・役員	
26 日	日	9 : 00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
28 日	火	9 : 00	定例作業日	雑木林	会員・一般	
29 日	水	13 : 30	企画会議	事務所	担当・役員	
29 日	水	13 : 30	通信発行	事務所	担当・役員	9・10月号

11 月 イ ベ ント と 森 の 学 校 の 予 告

	行事内容	会場	備考

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。

また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。

森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連あるご意見などをお寄せください。

関係の深い記事など通信に記載します。

イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会

理事長 河内 龍二

事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13

(TEL・FAX 0573-65-1366)

13:00～16:00(ゲツ・土・日・祭日休み)

メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp